

活動レポート

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会

北海道スタンダード研究委員会

文責：北海道スタンダード研究委員会 幹事長 奈良 照一

北海道スタンダード研究委員会の活動紹介

今号では当会としての講演会の開催等の報告がないため、活動紹介をさせていただきます。

1. 当研究委員会の目的

当研究委員会は、北海道に住む我々“北海道人”が、北海道らしさ・北海道人の考え方・気質など北海道そのものを探求し、その上で“北海道のあるべき姿”“北海道の自立”“北海道の役割”などについて幅広い分野で議論を交わしながら“北海道が元気になる”様々な提案を道内外に、そして未来に向けて発信していくことを目指しています(図-1)。

同時に、この活動を通じて北海道の明日を担う人材を育成していきたいと考えています。

3. 当研究委員会の運営体制

当研究委員会の運営体制は次のとおりです。また現在の会員数は 119 名です。

○現在の運営体制(令和 4 年～)

代 表	大槻 政哉	特別顧問	天沼 宇雄
副代表	樋詰 透	顧 問	正岡 久明
副代表	米川 康	顧 問	丹治 和博
幹事長	奈良 照一		
副幹事長	市橋 加代		

2. 当研究委員会の活動方針

当研究委員会の活動方針は、大きく次の 2 つです。

- 北海道らしい考え方や提案を研究するために有識者を招いた勉強会、講演会、WS の開催
- 北海道を元気にする提案をまとめた「(仮)北海道スタンダード提言書」を成果報告として発行

4. これまでの活動紹介

当研究委員会では平成 23 年 6 月 27 日の発足以降、毎年 1 ～ 3 回程度の講演会/勉強会やワークショップ等を延べ 36 回、多彩な講師をお招きして開催しています。令和元年度以降の講演会等の活動を参考としてご紹介します。

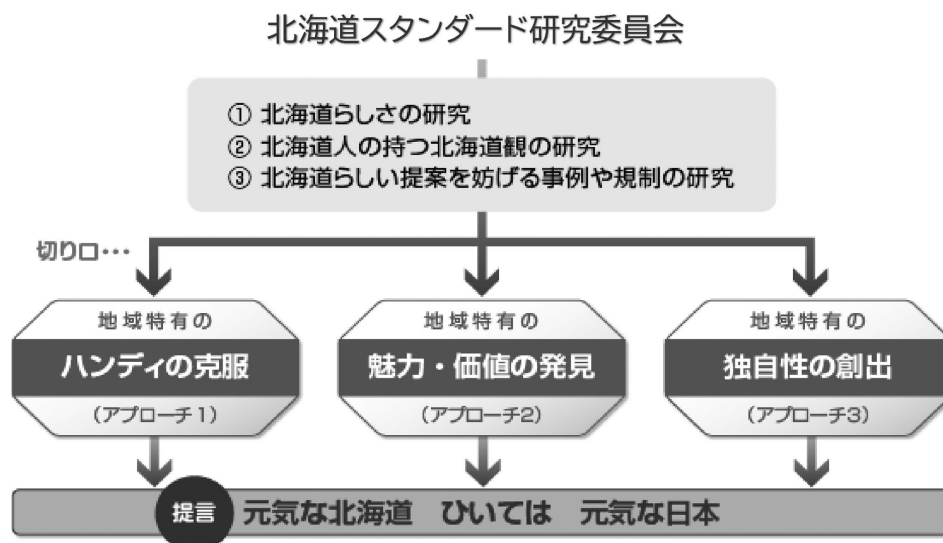


図-1 当研究委員会の活動フレーム

表-1 当研究委員会の最近の活動状況

年度	講演内容・講演者
R1	講演「北の文化の可能性」 河崎 秋子 様(羊飼い・作家(三浦綾子賞・大藪春彦賞などを受賞)) 講演「北の芸術」 吉崎 元章 様(札幌文化芸術交流センター SCARTS プログラムディレクター) 講演「北海道のモビリティ ～試される危機突破力～」 後 正武 様(株式会社 東京マネジメントコンサルタンツ 代表取締役、BBT 大学院教授) WS「本気でベトナムの学生を北海道に呼ぼう！」※ WS(ワークショップの略記)
R2	講演「日本そして北海道のあり方と役割」 第一部 海からみた領土問題(北方領土問題を含む) 第二部 海を守る日本 山田 吉彦 様(東海大学 海洋学部教授、東海大学 静岡キャンパス長(学長補佐))
R3	講演「心に火をつけるセッション ～隊長の登山録～」 神保 拓也 様(株式会社 トーチリレー 代表取締役(隊長))
R4	講演「教育の今と北海道の未来 ～「ほっかいどう学」の目指すもの～」 新保 元康 様(認定 NPO 法人ほっかいどう学推進フォーラム 理事長) 講演「認識力の強化で組織の問題解決を考える」～道内企業の組織力強化に必要なスキルを学ぶ！～ 三城 雄児 様(株式会社 JIN-G 代表取締役・BBT 大学 准教授)
R5	講演「次の一步を踏み出すためのマーケティング・アプローチ“自社の価値”を基軸に考える持続可能な経営」 吉田 聡子 様(北海道クリエイティブ株式会社 代表取締役)
R6	講演「永遠に終わらない会社を目指して ～北海道の魅力と可能性～」 南雲 二郎 様(八海醸造株式会社 代表取締役) 講演「もうけを生み出す知財戦略 ～北海道の魅力を知的財産に～」 中島 拓 様(アクシス国際弁理士法人 代表弁理士) 講演「北海道を守った男の生涯 ～陸軍中将 樋口季一郎の決断と行動～」 樋口 隆一 様(明治学院大学 名誉教授)
R7 (予定)	講演「北前船と北海道 『海の道』による人・モノ・文化のネットワーク」 高野 宏康 様(小樽商科大学客員研究員、地域レジリエンス株式会社 代表取締役)

5. 当研究委員会の今後について

当研究委員会では発足来、技術を中心に物事を考える“技術オリエンテッド”ではなく“北海道オリエンテッド”にこだわって活動をしています。北海道オリエンテッドなヒト・モノ・コト・コンセプト・技術(わざ)を組み合わせ、当研究委員会が目指している“元気な北海道”の実現に向けて勉強を重ねています。

今後とも、北海道が元気になるために必要なテーマで講演会や勉強会、ワークショップ等を開催し、

当研究委員会会員の皆様と共に学びながら、そこで得た知見を道内外に発信し、この活動を通じて北海道の明日を担う人材育成にも寄与していきたいと考えています。

引き続き“北海道を元気にする”提案を行うための活動をして参りますので、ぜひ当研究委員会の活動にご参加いただければと思います。

【ホームページアドレス】

<https://www.ipej-hokkaido.jp/hokkaido-std/>